

19 下建第 83号  
平成 19年 4月 27日

国土交通省道路局長 様

下條村長 伊藤喜来



中期的な計画の作成にあたっての意見について (回答)

上記の件について回答いたします。

**・重点化を進める上での特に優先度の高い施策**

高速道路や幹線道路ネットワークは、日本の持続可能な成長のためにも早期に整備されなくてはなりません。更に近年は異常気象により、想定外の災害がいつ何時やってくるかわからない状況です。

道路は、今後も日本経済の成長に欠くことのできない最も重要な社会基盤と考えます。けれども、日本の道路はコストが高いと言われており、今後の道路特定財源のあり方についても心配されますが、これからは地域に密接した重要な道路網の整備、あらゆる災害に強い道路網の整備が必要であり、特定財源を確保しつつ耐震強度等の高い強固な幹線道路網を整備することが、国土の安全につながるものと考えます。

**・効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと**

全国各地で数多くの箇所が、いまだ改良出来ず未着工のことと思います。

各箇所を再調査し、実施内容の検討はされているとは思いますが、今後はより踏み込んだ施策が必要だと思います。

今後も多くの意見を踏まえた改良計画を立て、それに伴った効率的な整備を、なるべく短年度で完成し、早い時期での供用開始を行っていただけるような改革が望ましいと考えます。

**・その他、道路政策や道路整備・管理全般に関する意見**

長野県の南部は山間地のため、資料を見てもお解かりのとおり、道路の改良率も極めて悪く、不便を強いられています。

下條村でも、いち早く改良いただいた国道151号線の粒良脇トンネルは幅員が狭いため、現在も大型車の対面通行が困難となっており、大型車すれ違いの際は、トンネル前後で渋滞が起きている状況であります。

また、同じく国道151号線で下條村の玄関口「道の駅信濃路下條」下の洞地ですが、農地の荒廃が進んでいるため、村としても今後景観形成を実施して行く上で洞の埋立等、再開発を行っていきたくて考えておりますので、公共事業による残土処理場として、検討いただければ幸いです。

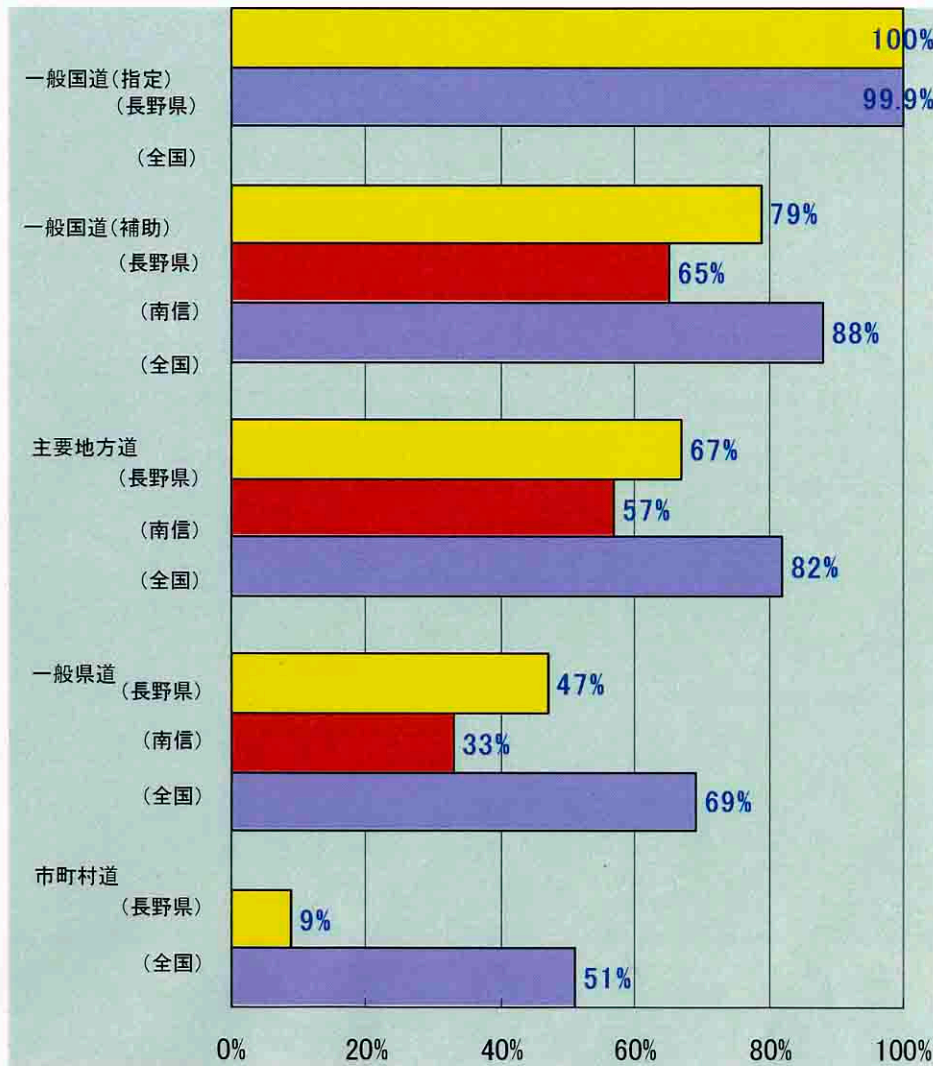
以上下條村では国道151号線が地域間をつなぐ唯一の幹線ですので更なるご高配をいただけますようよろしくお願いいたします。

# 1

## 南信地域の道路整備の状況

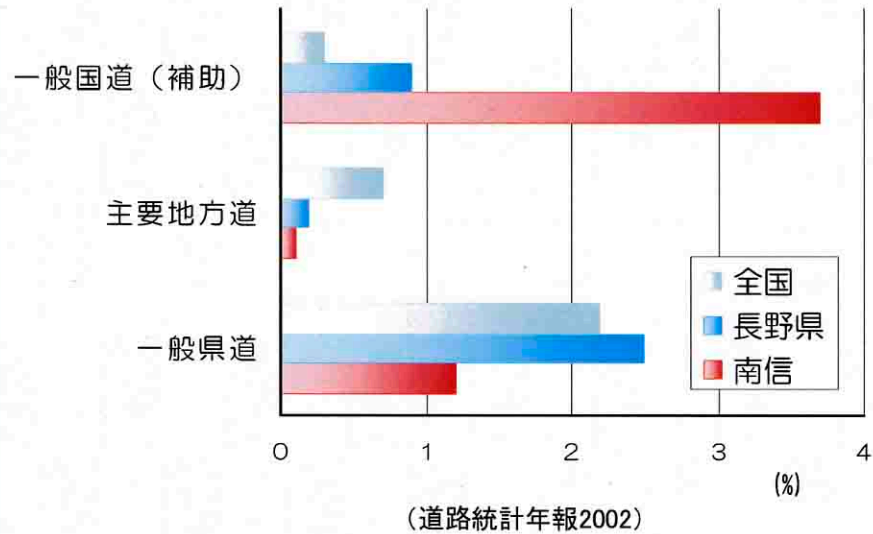
■ 長野県全体の中でも南信地域の道路整備は立ち遅れている。

長野県内の道路改良率



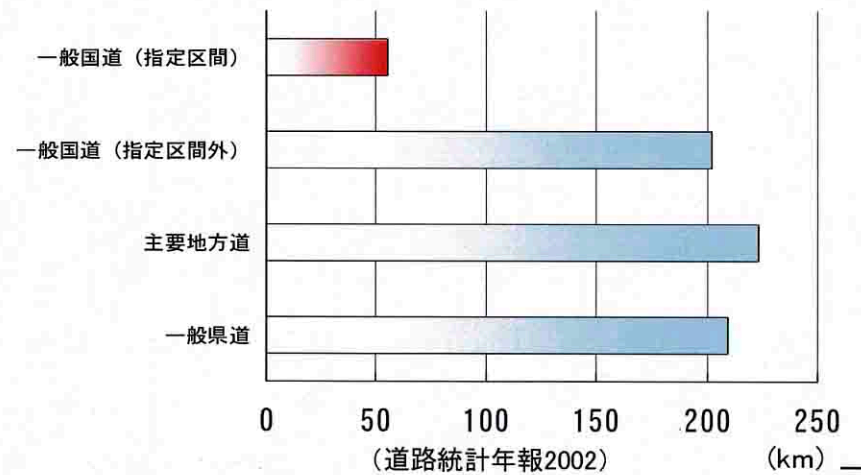
(道路統計年報2001[全国値],2002)

通行不能区間率



(道路統計年報2002)

長野県通行規制区間長



(道路統計年報2002)

(km) - 1 -